

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

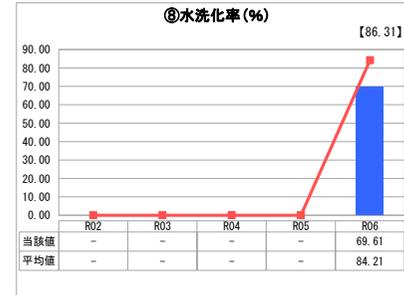
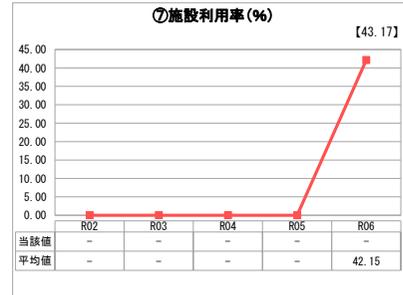
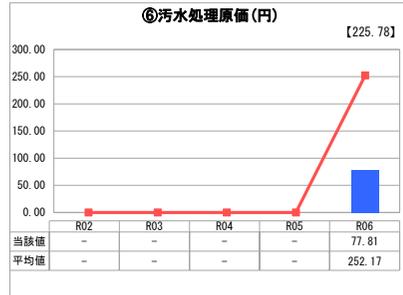
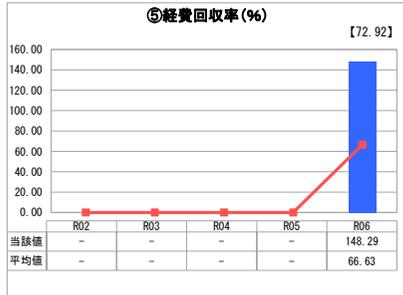
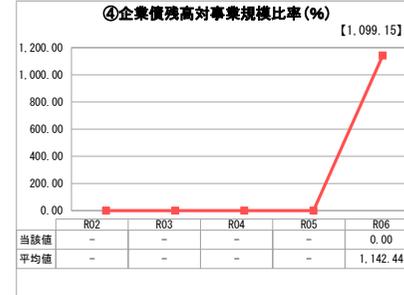
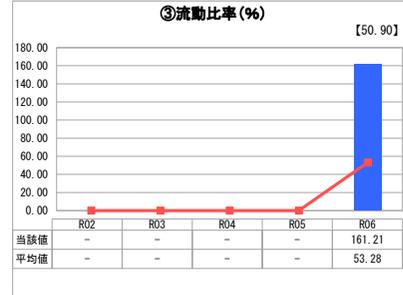
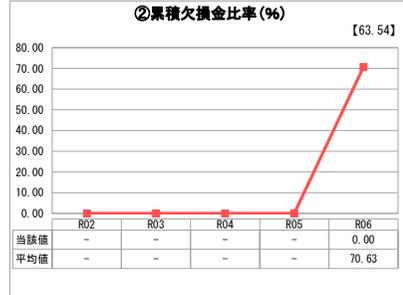
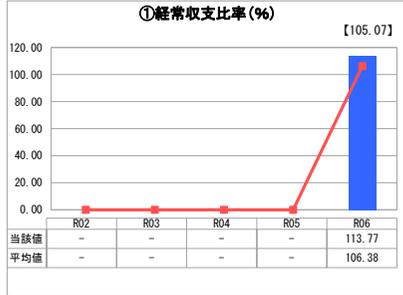
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	61.00	14.61	100.95	2,145

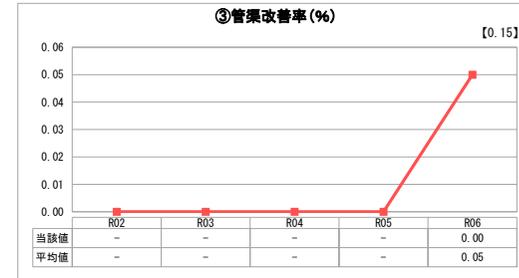
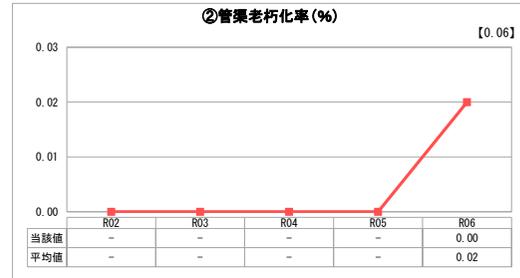
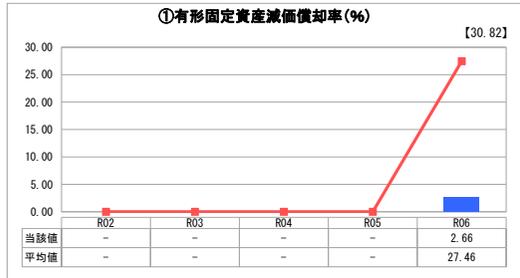
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,560	1.16	2,206.90

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっているため、経営の効率化及び自己財源の確保に向けた取組が必要である。
- ② 累積欠損金比率  
累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率  
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率  
企業債残高に対しての一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。
- ⑤ 経費回収率  
100%を大きく超えており、汚水処理費を使用料で十分に賄えている状況である。しかし、物価高騰等の影響により汚水処理費も年々高騰しているため、堅実な経営を行っていく必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価  
類似団体平均及び全国平均を下回っているが、今後、汚水処理費の増加が見込まれることから、有収水量の維持に努める。
- ⑦ 施設利用率  
類似団体平均及び全国平均を下回っている。今後も接続促進に努める。
- ⑧ 水洗化率  
類似団体平均及び全国平均を下回っている。今後も接続促進に努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
類似団体の平均値を下回っている。ストックマネジメント計画をもとに資産管理を行っていく。
- ② 管渠老朽化率  
法定耐用年数を超えた管渠はない。今後は更新需要が高まり数値が上昇が見込まれる。
- ③ 管渠改善率  
当該年度に管渠の更新は行ってない。今後は更新需要が高まり数値が上昇が見込まれる。

## 全体総括

経常収支比率が高く、経常的収入が経常的支出を上回っている。また、経費回収率も高いことから、収入をもって適切に経常的な支出を賄っている状態である。その一方で、一般会計からの繰入に依存している傾向も強く、使用料改定の検討を踏まえ、経営改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。